

20 司書教諭に関する科目

授業科目	学校経営と学校図書館		担当者	岩下 雅子
	[履修年次]	1年	授業外対応	メールによる
	[学期]	後期	[単位]	2単位
			[必修/選択]	必修
			[授業形態]	講義方式
テーマ及び概要	【テーマ】 変化し続ける新しい学校図書館について理解する 【概要】 多くの学校図書館の事例を校種別に学ぶと同時に、学校図書館の可能性についてもさまざまな角度から考察します 【到達目標】 学校経営の中の学校図書館の位置づけを理解し、司書教諭の果たす役割を学ぶ			
(1)テキスト (2)参考文献	(1) プリント (2)			
授業スケジュール	第 1回 学校図書館の理念と教育的意義について学ぶ 第 2回 学校図書館法等について学ぶ 第 3回 世界・日本の学校図書館の変革 (ルソー、マン、デューイ、沢柳政太郎) 第 4回 鹿児島県の読書活動 (「母と子の20分間読書運動と椋鳩十」) 第 5回 学校経営の中の学校図書館 (校務分掌等) 第 6回 学校経営の中の学校図書館 (学校内外の連携、協力体制づくり) 第 7回 学校図書館の運営①小学校 第 8回 学校図書館の運営②中学校 第 9回 学校図書館の運営③高等学校 第 10回 学校図書館の運営④特別支援学校 第 11回 学校図書館広報活動 (HP 等) 第 12回 読書感想文の取組み 第 13回 読書感想画の取組み 第 14回 映画「やさしい本泥棒」を通して読書が人間に果たす役割/意義について学ぶ (1) 第 15回 映画「やさしい本泥棒」を通して読書が人間に果たす役割/意義について学ぶ (2)			
授業外学習(予習・復習)	事前に配布された資料は読んでくること			
成績評価の方法	筆記試験 50% 授業ごとに実施するレポート 30% 発表 20%			
実務経験について	県立高等学校 (4校) および短期大学図書館司書 (専門員) として勤務			

授業科目	学校図書館メディアの構成		担当者	岩下 雅子
	[履修年次]	1,2年	授業外対応	メールによる
	[学期]	後期	[単位]	2単位
			[必修/選択]	必修
			[授業形態]	講義方式
テーマ及び概要	【テーマ】 学校図書館が扱う情報メディア資料について学ぶ s 【概要】 学校図書館メディア構築のために適切な情報・資料の選択・収集・整理・提供・保存について考察する 【到達目標】 学校図書館メディアの組織化と司書教諭の果たす役割を学ぶ			
(1)テキスト (2)参考文献	(1) プリント (2)			
授業スケジュール	第 1回 学校図書館メディアの現状 第 2回 学校図書館メディアとその活用 第 3回 学校図書館メディアの構築 (基準冊数、メディア基準) 第 4回 学校図書館メディアの構築 (選書基準、廃棄基準) 第 5回 日本十進分類法①総記～哲学 第 6回 日本十進分類法②歴史～社会科学 第 7回 日本十進分類法③自然科学～工学 第 8回 日本十進分類法④産業～芸術 第 9回 日本十進分類法⑤言語～文学 第 10回 学校図書館をデザインする①書架、分類、配架 第 11回 学校図書館をデザインする②横断的分類 (選書) 第 12回 学校図書館をデザインする③テーマ展示にみる分類 第 13回 特別支援学校と学校図書館メディア 第 14回 学校図書館とネットワーク①オリエンテーションで役立つ学校図書館メディアの活用 第 15回 学校図書館とネットワーク②授業に役立つ学校図書館メディアの活用			
授業外学習(予習・復習)	事前に配布された資料は読んでくること			
成績評価の方法	筆記試験 50% 授業ごとに実施するレポート 30% 発表 20%			
実務経験について	県立高等学校 (4校) および短期大学図書館司書 (専門員) として勤務			

授業科目	読書と豊かな人間性		担当者	木戸 裕子	
	[履修年次]	2年	授業外対応	オフィスアワーに準じる。	
	[学期]	後期	[単位]	2単位	
		[必修/選択]	選択	[授業形態]	講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】本と図書館に関する現状を学び、読書が子どもの成長にもたらすものについて考える。</p> <p>【概要】子どもにとって読書とは、広い世界への興味や想像力をはぐくむために大切なものである。この授業では、本と図書館に関する話題や、読書活動の方法を通して、読書が私たちにもたらす豊かな世界を考えていく。授業では、実際に図書館や書店を訪れたり、読みきかせ、ブックトークなどの子どもの読書の手助けとなる方法を実際に体験したりする。</p> <p>【到達目標】読書と心の豊かさの関連について考えることができる。児童生徒の読書活動に対する学校図書館の役割を理解する。様々な読書活動（読み聞かせ、ブックトークなど）の方法を知る。自分の読書活動について振り返る。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 立田 慶裕編著『読書教育の方法—学校図書館の活用に向けて—』学文社</p> <p>(2) 「読むチカラ」プロジェクト編「鍛えよう！読むチカラ学校図書館で育てる25の方法」明治書院、小林功「楽しい読み聞かせ 改訂版」全国学校図書館協議会、渡部康夫「読む力を育てる読書のアニメーション」全国学校図書館協議会、</p>				
授業スケジュール	<p>第 1回 読書教育とは何か：発達に応じた読書</p> <p>第 2回 読書教育の担い手：学校図書館を支える人々</p> <p>第 3回 学校図書館の歴史：制度としての学校図書館</p> <p>第 4回 読書教育のための学校環境：学校における読書環境、地域との連携</p> <p>第 5回 読書教育の方法1：就学前・学校全体</p> <p>第 6回 読書教育の方法2：教科と読書教育</p> <p>第 7回 小学校の読書：物語を楽しみ、言葉をはぐくむ</p> <p>第 8回 中学校・高校の読書教育：言語教育と科学的探究の融合</p> <p>第 9回 公共図書館の児童室と学校図書館：グループワークとディスカッション</p> <p>第 10回 発達を支える読書：特別支援教育との関係</p> <p>第 11回 読書活動1：読書案内、ブックトーク、ブックリスト</p> <p>第 12回 読書活動2：読み聞かせ、読みあい、ストーリーテリング</p> <p>第 13回 読書活動3：パネルシアター、紙芝居</p> <p>第 14回 実演1：ブックトーク、読み聞かせ、読みあいなど</p> <p>第 15回 実演2：ブックトーク、読み聞かせ、読みあいなど</p>				
授業外学習(予習・復習)	積極的に読書活動に取り組み、読書記録を取るようになる。				
成績評価の方法	課題提出(50%)と、授業第14回、15回での実演(50%)				
実務経験について	なし				

授業科目	情報メディアの活用	担当者	竹本 寛秋
	[履修年次] 2年 [学期] 後期 [単位] 2単位	授業外対応 [必修/選択] 選択	適宜対応 (要予約) [授業形態] 講義方式
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 高度情報化社会である現代における多様な情報メディアの特性を学び、学校図書館での活用方法について考える。</p> <p>【概要】 テクノロジーの発展により高度情報化した現代において、情報と人々の関係は急速に変化している。新たな情報環境を積極的に活用していくことが学校図書館には常に求められており、その中で、司書教諭は多様なメディアについて理解し、活用する能力を持つことが期待される。授業においては、情報化社会と人間の関係について基礎的な理解に基づき、様々なメディアの特性を知って、効果的に活用する方法を学ぶ。またデジタル社会における著作権について学ぶ。</p> <p>【到達目標】 現代社会の多様な情報メディアの特性について理解し、説明できる。 学校図書館における情報メディアを活用した教育や応用の手法について理解し、説明できる。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) プリント (2) 適宜、授業中に紹介する。</p>		
授業スケジュール	<p>第 1回 情報社会の系譜 第 2回 情報検索の手法 第 3回 インターネットの系譜 第 4回 情報社会の進展と学習観の変遷 第 5回 学校情報化の変遷と現状 第 6回 情報社会と著作権1：著作権の理解 第 7回 情報社会と著作権2：著作権の制限 第 8回 情報社会と著作権3：デジタル化の進行と著作権 第 9回 情報セキュリティ 第10回 インターネットと情報検索、情報探索の技法 第11回 情報探索の実践 第12回 ICTを活用した授業 第13回 ネットワーク運用 第14回 演習1：現代の情報メディアに関する発表とディスカッション 第15回 演習2：現代の情報メディアに関する発表とディスカッション</p>		
授業外学習(予習・復習)	教科書の精読、授業で課す課題の調査など。		
成績評価の方法	授業での課題 (60%)、期末試験 (40%)		
実務経験について	なし		